



# 1月の生活表

2024年1月  
聖マリア幼稚園

年主題：つながって ～今、わたしを生きる～

月主題：やってみたい

保育日数(17/19日)

月目標：<3歳児>

\*クリスマスにお生まれになったイエスさまに親しむ。

\*友だちや保育者に自分の想いを言葉で表現し、お互いに聞き合う。

\*霜柱、氷、雪等、冬の自然の不思議を感じ、触れながら遊ぶ。

<4・5歳児>

\*クリスマスの恵みを味わいながら、イエスさまの物語を通して聖書の世界を身近に感じる。

\*伝承遊びやお正月の遊びにも関心を持ち、新しい遊びをじっくり見たり、取り組んだりする。

\*冬の冷たさを身体で感じ、不思議さや面白さを伝えあい、調べたり試したりする。

何度も申し上げますが、やはり1月ですので、「明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。」皆様のご理解ご協力をいただきながら、48日(最短日)の3学期を進めさせて頂きたいと思っております。冬休みのお約束の3つは、お祈りをしましょう。お手伝いをしましょう。そして新年の特別のご挨拶をしましょう。というものでした。初日の朝に子どもたちはご挨拶してくれた人、お母さんに言われて一緒にしてくれた人、分かっているけど・・・とハニカム人など様々でしたが、みんなと一緒に朝のご挨拶時には、とても良い声でしっかりとご挨拶をしてくれました。そして、薄くなっていた日めくりカレンダーがまた太っちょになり、冬休みにめくってなかった21枚のカレンダーを緑組から順番にめくり、今日始業の日までめくれたのでお礼拝を始めました。新しいお友達も入園され嬉しいスタートになりました。が、お礼拝では、お休みのお友だちやお正月に起こった地震についてみんなでお祈りしました。一日も早い復興と関係ある方々をはじめ、そこで働くすべての人々に神様のお守りがありますように。

さて、1月は「やってみたい」という月目標です。今の学年で残された日々に、何を「やってみたい」と思うのか。そこには1～2学期を通していっぱい経験してきたことが活かされ、「やってみたい」「こういうことをするためにはこれがほしい」とか、子ども自身の気持ちとカリキュラムの中で先生が「こんなふうになって欲しい」と願うことが、うまくマッチすることも必要かもしれません。自由遊びで一日を終えている幼稚園ではないので、設定保育という全体に投げかけつつ、各学年及び一人一人の成長を見届ける為に、先生の「願い」も重要です。そんな中で子どもが、自身の気持ちを表出できるきっかけに出会い、表情や言葉で相手に伝えようとする為には、「話してもいいんだ」という空気(雰囲気)が必要ですね。これは大人の世界でも同じだと思います。こんなこと言ったら・・・と躊躇するようでは、その人(子)の気持ちに触れられず添ってあげることができません。私たちの保育の中で大切にすることの一つに臨機応変さという大切な言葉があります。これは「こうしたい」「こうしてみよう」と思っている先生の気持ちを子どもやその時の状況に合わせて変更を加えることにより、保育内容を深め広めることに繋げようとする事なのです。そして、その考え方は「生きる力」「考える力」にも活かされることとなります。ものの見方を変えることにより、子どもたちの姿に変容も生まれます。この変容こそが、成長への大きな鍵となります。次のステップへ向かうために、それぞれの変容をどうして認めていくのか、私たちが考えなければならないことでもあります。残されたこの大切な3ヶ月間。緑組にとってはカウントダウンですね。有意義な日々となるように。

## 《チャプレンコーナー》

年主題：つながって ～今、わたしを生きる。～

年聖句：1月月間主題：やってみたい

月聖句：月聖句：私はぶどうの木、あなた方はその枝である。

(ヨハネによる福音書 15:5)

明けましておめでとうございませす。今年もよろしくお願いたします。

元旦から大きな出来事が起こりました。能登半島沖で発生した地震は、多くの被害を出し、亡くなられた方、傷ついた方々もたくさんおられます。石川県には聖公会の教会もあります。幸い教会、施設には被害はなかったのですが、信徒の方が被災されました。教会・教区として、今後被災地域への支援を考えていきたいと思ひます。

こんな時、困っている人々のために何もできない自分に、無力感を覚えます。何かしてあげたい、何かしなければ、という思いと、状況的にも力量的にも、何もできない現実とのギャップを苦しく思ひます。今はまず、被災された方々のために、心を込めてお祈りしたいと思ひます。祈りの生活の中で、自分にできる事が、小さなものであっても、見つかってくることでしょう。その時に、誠実に行っていききたいと思ひます。

「つながり」という言葉が、実感をもって心に迫ります。やはり私たちはつながっています。つながっているからこそ、このようなもどかしい思いを抱いたり、彼の地の人々の痛み、苦しみに心が痛んだりするのです。

クリスマスは、イエス様という一人の赤ちゃんの誕生を、みんなで喜び祝う時でした。クリスマスを経験した私たちは、一つのことを、みんなで分かち合ひます。一つの喜びをみんなで分かち合うと同時に、一つの苦しみも分かち合ひます。喜びも苦しみもみんなで分かち合ひて、みんなで幸せになろうとしているのです。

イエス様は私たちのつながりを、「ぶどうの枝」で表現されました。この繋がり、私たちがみんなと、そして神様をつなげてくれます。

## おたんじょうび おめでとうございます

18日

### <生活指導>

☆自然の移り変わりに目を留めてみましょう。

- ・風の冷たさ、音、樹々の変化（裸ん坊になりましたね）、山の色の変化、空の色、登降園途中の様々な発見を大切に、冬の訪れを感じてみましょう。

☆自分で出来る事は自分でやってみましょう。

- ・上着を着る機会が多くなります。ジャンパーのボタンやファスナーが自分で出来るように練習してみましょう。出来ない時にはお手伝いをしてあげますよ。  
『〇〇して下さい。』とのお願いのことが添えられると嬉しいですね。
- ・自分の持ち物は自分で整理整頓しましょう。脱いだあとの服の始末（たたむ・フックに掛ける・ハンガーにかける等）、鞆も一定の場所へ・・・
- ・幼稚園では上着を着たままで保育室へ。たたむ練習をしていますので。

☆健康管理に留意しましょう。

- ・コロナ・インフルエンザ・その他様々な感染症への対策を十二分にしましょう。
- ・3学期も油断大敵です。帰宅後の手洗い（指の間・手の平と甲・手首など）をしっかりと洗いましょう。そして必ずうがいもしましょう。
- ・マスクはお子さん、場に合わせて着用してみましょう。
- ・暖房器具の扱いを的確にしましょう。（こまめな換気と乾燥を防いで・・・）
- ・子ども達の肌の感覚を養いましょう。（寒風摩擦もいいですね）

### <クラス担任より>

#### 【花組】

「あましておめでとうございます！ことしもよろしくおねがいします！」と元気いっぱい愛らしいご挨拶と共に3学期を迎え、子どもたちの姿が幼稚園に帰ってきました。年始より石川県の能登地方を震源とする地震に際し、被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。未だ不安と悲しみの中にある人々を思うと心が痛みます。何も出来ない現状に無力さを感じざるを得ませんが、子どもたちと共に今年初めての礼拝で共にお祈りをお捧げいたしました。私たちに今、出来ることを考え、何らかの行いにすることが出来ればと思います。

3学期、いよいよそれぞれが2023年度の花組の集大成を迎えます。花組の子どもたちは赤組への進級を見据えて、小花（満三歳）ちゃんの子どもたちは花組のリーダーとなるべく、一人ひとりの子どもたちが新たなステージに期待を持って前進してゆけるように、日々の教育（保育）を大切に過ごしていきたいと思っています。



充実した園生活を子どもたちが過ごしていけるように。まずは、基本的な生活習慣がそれぞれの年齢相身に身についているだろうか、と改めて子どもたちの姿をご覧いただきたいと思います。幼稚園では個々に指導や援助を行っていますが、これは幼稚園や保育園に通っていれば自ずと身に付く、というものでは無いとは言わずもがなです。ご家庭でも今一度意識を持ち、子どもたちの今をしっかりと受け止めていただきたいと思います。しかし、ご家庭だけでは難しい・・・のだと、昨今の子どもたちの姿を見させていただいております。

子どもたちそれぞれが前向きに取り組んでゆき、それぞれの目標を達成出来る為に、ご家庭と幼稚園とが二人三脚で援助し成長に繋げてゆけるように励んでまいりましょう。3学期は、あっ！という間です。毎日、神様に守られていることを忘れず、感謝しながら安心して一日一日を大切に歩んでいきたいと思っています。引き続き、ご理解とご協力を賜りますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 【赤組】

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えられたことに感謝して、心構えも新たに1年のスタートを切りたいと思います。そんな風に意気揚々と始めたい新年ですが、新年早々、衝撃の災害の数々...。どうか、1日でも早い復興をお祈り申し上げます。子どもたちとは始園式で色々な物事についてのお祈りをしました。被災された方々、怪我をされた方、病気でお休みしている友だちを思ってお祈り、また、お誕生日を迎えられたご家族が沢山いらっしやっただけ嬉しいお祝いも一緒にさせて頂きました。このようなお祈りの時をもつと、苦しい時、悲しんでいる時、そして嬉しい時、どんな時でも私たちはお祈りを通して神様とお話が出来る、神様が側にいて下さるのだと改めて感じた瞬間でもありました。3学期も神様の存在に感謝して過ごしていきたいと思っています。

さて、3学期は、進級への準備をする大事な時期です。幼稚園で一番大きいクラスになり、常に前に立ってリードする緑組さんたちをいちばん近くで見えてきたからこそ「緑組になるとなんだか大変そう」などと、ただ「大きくなった！」だけでなく不安や心配になる感情が見えてくるかもしれません。これも成長のひとつだと思いい、プレッシャーをかけることなく、緑組になる喜びと期待をもって嬉しい進級へとなりますように援助したいと思っています。また、同じクラスの友だちとの関わりをより深め、相手の気持ちに気が付き、時には助けたり協力し合えるように、より社会性を養う大事な時期であることも考えています。そのためにも自身の感情を豊かにし、言葉を介して伝え合い、共に歩いていこうという気持ちも大切です。残り少ない赤組での日々を大切に、じっくり関わっていきたくて考えています。

3学期間もご指導の程、どうぞよろしくお願い致します。

## 【緑組】

明けましておめでとうございます。2024年の幕開けは、災害や事故の話題に心休まらないお正月となりました。新しい年の始まりを、こんなに胸を締め付けられる思いで過ごすことになるとは、想像だにしませんでした。この寒さの中、被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、離れていても私たちに出来ることを日々と積み重ねながら、皆様の心の傷が少しでも癒されることをお祈りしたいと思います。

緑組におきましては、卒園までのカウントダウンがとうとう現実味を帯びる3学期がスタートしました。卒園式まで48日。子どもたちにこの具体的な日数を知らせたら...「卒園したくない」「さみしい!」と不安がり、反対に「早く1年生になりたい!」「小学校に行ったら...♪」と期待に胸躍らせる...そんな複雑な気持ちになるように思います。わずか「48日」と改めて数字でみると、ドキッとするのは私も同じです。でも、その日を迎えられることは嬉しいことなのだと思うように、これから始まる1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。そして、毎月のように待っている楽しいイベントが盛りだくさんの3学期、まずは「お餅つき」に「人形劇」。2月になれば、緑組だけで過ごす特別の「宿泊保育」。3月には最後の発表会「春の集い」...etcと、幼稚園で存分に楽しんで、就学へと繋いでいきたいと思いません。そして、今まで5人で頼もしく多くの事に挑戦してきた緑組に、嬉しい仲間が増えたこともとても心強いことです。これまで同様、横に縦に人と繋がり、互いに認め合い、時に葛藤しながら成長してくれることを願っています。小学校は子どもたちにとっては大海原...。集団も大きく、出会う人、もの、出来事が新鮮で刺激的で、経験したことのないことに戸惑うこともあるかもしれませんね。先の不安よりも、今をしっかりと楽しむことがこれからの礎になるのだから...!さあ!泣いても笑っても...48日です。どうぞ、お子さまとご一緒に園生活をお楽しみくださいませ。今学期もよろしくお願い致します。

